

研究に関するお知らせ

糖尿病腎症の重症度や予後を反映する尿中因子、ならびに血漿中因子の検証研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

目的：糖尿病で血糖コントロールが悪い期間が長く続くと、腎臓の合併症から透析を行わないと生命が維持できなくなることがあります。この研究は腎臓の合併症を早期に発見する方法を開発するために行います。

方法：「糖尿病腎症の重症度や予後を反映する尿中因子、ならびに血漿中因子の検証研究」(承認番号 NCGM-A-000251)において取得し保存された試料、情報をもとにオミックス解析を行います。既にご同意いただいている試料・情報の扱いの範囲内で解析を行いますので、新たな診療や検査の必要はありません。

■研究期間

倫理審査承認日～西暦2022年9月30日

■研究の対象となる方

2016年4月5日～2020年3月31日に「糖尿病腎症の重症度や予後を反映する尿中因子、ならびに血漿中因子の検証研究(承認番号 NCGM-A-000251)」にご参加いただいた方

■研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液、血球ゲノム、および尿

情報：診療情報に記載されている情報（生年月日、検査データ、治療歴等）

■外部への試料・情報の提供

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、国立研究開発法人国立国際医療研究センターでは当センターの個人情報管理者が保管・管理します。

■研究組織（責任者）

国立国際医療研究センター 研究所 臓器障害研究部	部長	鍋木康志
慶應義塾大学医学部 病理学教室	教授	金井弥栄
国立循環器病研究センター 創薬オミックス解析センター	特任部長・センター長	南野直人
国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部	室長	齊藤 公亮
慶應義塾大学 先端生命科学研究所	特任講師	平山 明由

※「既存試料・情報の提供のみを行う機関」

国立国際医療研究センター病院 糖尿病内分泌代謝科	診療科長	梶尾裕
国立病院機構千葉東病院 糖尿病・内分泌内科	診療部長	関直人

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。

ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立国際医療研究センター 研究所 臓器障害研究部長 鍋木 康志

■お問い合わせ先

国立国際医療研究センター 研究所 臓器障害研究部長 鍋木 康志
〒162-8655 新宿区戸山1-2-1-1
TEL：03-3202-7181（代表）